

— 第6回 —

レビー小体型認知症らしさを知る

今月のポイント

- レビー小体型認知症とパーキンソン病は兄弟症状の変動は覚醒レベルの変動
- リアルな幻視：反応する行動
- 自律神経系の症状：便秘、失神、立ちくらみ
- REM睡眠行動障害：夜中に大声などの行動



山口晴保

群馬大学医学部保健学科
教授・医師

専門はアルツハイマー病の神経病理学やリハビリテーション医学。認知症の進行を防ぐ脳活性化リハビリテーションにも取り組む。著書に「認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント（第2版）」（協同医書出版）など。

表 レビー小体型認知症の特徴

症状	関係する脳部位・系
リアルな幻視、誤認妄想、幻の同居人、認知障害	大脳皮質、辺縁系
認知機能（覚醒レベル）の変動、薬剤過敏性	前脳基底部（マイネルト核など）、大脳基底核
● パーキンソン症状（無動・固縮・バランス障害）	中脳黒質・線条体系
● 便秘、立ちくらみ、失神	自律神経系

*下線は三大症状で、二つ以上あればレビー小体型認知症の疑いが強い。
*パーキンソン病は●を主要症状とするが、進行するとほかの症状も出てくる。

今回はレビー小体型認知症の特徴的な症状（表）を解説します。

レビー小体型認知症の三大症状

その特徴の第一はリアルな幻視です。レビー小体型認知症の人は、子どもや動物などが見えるだけでなく、見えたものに働きかけます。たとえば犬が見えるだけでなく、「そこに犬がいるから気をつけて」と言ったり、棒で犬を追い払おうとするなどのリアクションがあります。幻視だけでなく、庭の木が人に見えるような見間違え（錯視）も出現します。

家に子どもがたたくさん来ている（幻の同居人「症状」）からと、何人分もの食事を用意する人もいます。また、誤認妄想といって配偶者・家族を似ている他人と言っていることがあります（カブクラ症候群）。「夫に買ってあげた服を、なぜ他人のあなたが着ているの。早く脱ぎなさい」と怒って夫を殴った例もありました。第二の特徴は、症状の変動です。頭がはっきりして認知機能が高い時間・日と、ボーッとして覚醒レベルが低下している

時間・日が交互に出現します。目つきが変わって何かにとりつかれたようになっている状態のこともあります。認知機能は、夕方に低下する傾向があります。

第三の特徴が、パーキンソン症状です。手足の筋肉が硬くなり、動きが少なく、小さくなります。歩幅が小さく小刻みに歩く、表情が乏しくなるなどの症状もみられます。

この三大症状のうちの二つ以上がみられれば、臨床的にレビー小体型認知症と診断します。幻視や誤認妄想があったら、レビー小体型認知症を疑ってください。

パーキンソン病と兄弟疾患

実はパーキンソン病とレビー小体型認知症は、病因が共通しています。ともにαシヌクレインというタンパクが異常に蓄積することで生じ、このαシヌクレインがたまり始める脳部位・系の神経細胞によって、レビー小体型認知症かパーキンソン病かに分かれます（表）。そしてどちらも長期経過すると、認知障害とパーキンソン症状が共に現れ、区別がつかなく

かなくなります。

αシヌクレインは自律神経系の神経細胞にも蓄積します。このため、便秘は必ず出る症状です。また、交感神経障害としての立ちくらみや失神も高頻度で、転倒しやすくなります。レビー小体型認知症の場合はこういった症状があることを施設などでは家族に事前に知らせておく必要があります。どんなに注意しても、いきなり転倒する可能性があるからです。

前兆でもあるREM睡眠行動障害

三大症状に加え、もう一つ特徴的な症状が、夜中に夢を見て行動するREM睡眠行動障害です。夜中に突然むくつき起き上がりたり、手足をばたばたと動かしたり、大声で何かを叫ぶといった行動がみられます。たとえば、隣で寝ていた配偶者がびびりくりしてたずねてみると、「今、熊に襲われて戦っていた」などと夢の内容を訴えます。

このREM睡眠行動障害は、レビー小体型認知症発症の数年前からみられることがあり、前兆として注目されています。

薬剤過敏に注意して治療

レビー小体型認知症は、しばしばアルツハイマー病と誤診されています。しかしレビー小体型認知症は薬物過敏性を示すので、アルツハイマー病との明確な区別が必要です。たとえば抗精神病薬などに過敏に反応し、少量で副作用が出やすい傾向があります。また、アルツハイマー病治療薬のドネペジル（アリセプト）はレビー小体型認知症の幻視や覚醒レベル低下に対して少量で有効ですが、常用量では易怒性などの副作用が出やすい傾向があり、「効き過ぎ」には要注意です。幻視や昼夜逆転などの治療では、抑肝散という漢方薬が用いられますが、劇的に有効な例がある一方で、治療に難渋するケースもしばしばあります。

レビー小体型認知症は、適切な治療で良くなる可能性が高いので、その疑いがあるときは、早期に適切な医療につなぐことが大切です。

この記事が、レビー小体型認知症の早期発見に役立つことを期待しています。